

あい きょう しげ ゆき
愛敬重之 後援会
だより

2023
10月16日
No. 42 **75**

発行責任者 後援会会長
伊藤久志



2023東海ブロック政策研究

日頃の議員活動に、ご協力いただきありがとうございます。
ございます。

7月18日、桑名市の最高気温は39度となり、全国1位を記録するなど、今年の夏は驚異的な猛暑となる中、4年ぶりに規制することなく開催できた水郷花火大会では、大輪の花火が桑名の夜空を艶やかに彩り、来場いただいた多くの方の熱い喝采で賑わいました。



愛敬重之
公式HP

<http://www.aikyo-kuwana.net/>

また、石取祭りでは、8年ぶりに40台の祭車が揃い、鉦や太鼓の音がやかましく桑名のまちに鳴り響き、桑名の夏を象徴する風物詩が戻ってまいりました。さて9月は桑名市の2022年度の決算報告です。決算全体では、歳入総額917億2,579万円余、歳出総額867億2,959万円余となり、差し引き49億9,620万円余の黒字決算でした。

今回の後援会だより75号では、9月の市議会定例会一般質問の内容と、個人の議員活動を報告させていただきます。

今回の後援会だより75号では、9月の市議会定例会一般質問の内容と、個人の議員活動を報告させていただきます。

水郷花火大会の検証や総合運動公園施設老朽化について質問

(1) 桑名水郷花火大会の検証について、市にもたらしたさまざまな効果は

昨年の水郷花火大会についてはコロナウイルス感染症対策を優先させた形で開催されました。例えば時間短縮・食事などの制限・メタバースの活用などありました。今年は、昨年の良いところも取り入れた形で開催されたと思います。他の自治体では当日に、ポケットティッシュサイズに折り畳んだゴミ袋を来場者に配布し、ゴミを持ち帰るようにアナウンスされたこともあり新しい取り組みも必要かと思いますが、市にもたらした効果は。

●市の回答(抜粋)

今回は、4年ぶりの本格開催で、会場内外で推計17万人もの方々が観覧され、お越しいただいた多くの市民や協賛の方々から「素晴らしかった」、「花火の迫力に圧倒された」、「音楽の演出が印象的だった」などという感想を頂戴しました。その一方で、「入場するのに大変時間がかかった」、「案内看板が分からなかった」など、次回開催向けの課題を提起していただいたので、改善できるよう取り組んでいきます。

開催方法については、昨年在コロナ禍での開催ということもあり、会場内での飲食を制限し、人と人の接触を少なくするためにソーシャルディスタンスをとり、開催時間を1時間短縮し、入場者数は5,000人を上限としました。一方で、来場できない方々のために、インターネットでライブ配信するなど、対策を講じました。また、昨年に引き続き花火大会を3部構成にし、協賛企業ごとの花火ではなく、一つにまとめたことで、大会全体としての魅力を高めることができ、終始楽しむことができたといった感想をいただいていたので、今年度も昨年に引き続き3部構成で時間を短縮して開催しました。会場内の人数制限も撤廃されたので、伊勢大橋付近から旧山月の跡地付近までの河川敷と堤防上に、協賛席および有料観覧席を設置しました。今年の花火大会の検証と効果について3点ありましたので説明します。

まず、**1点目**は、花火大会開催における収益確保のために、新たなエリアに座席を設営することで有料観覧席数を増加するとともに、物価高騰による影響で有料席料金の見直しを行ないました。以前から要望をもらっていた花火を撮影するためのカメラマン席を新設したところ、販売開始後、即日完売しました。このような工夫により、有料席販売収入は前年度の2.8倍増加となりました。



2点目は、新たな取り組みとして、桑名駅前広場において地元事業者11店舗によるキッチンカーの出店や、国営七里の渡し公園を活用した観覧席の販売を実施しました。まず、キッチンカーについては、花火の観覧者以外にもたくさんの方々に立ち寄ってもらえたので、全体に売上も大きく伸ばしています。

また公園での観覧席については、入場券が前売りで完売するなど人気があり、実際に利用された方からは、「会場内が混雑してなくて良かった」、「芝生で広々と観覧できた」、「装飾もされていて雰囲気良かった」など意見をいただいています。対岸の長島エリアにおいても、長島リゾート様が、自前のエリアを有効活用して商業活動されています。花火大会を1つのビジネスチャンスととらえて、多くの事業者の方に取り組んでもらえることで、地域経済が活性化されます。

3点目は、花火大会の翌日清掃についてです。広く清掃ボランティアを募集しましたところ約500人の参加がありました。今回から、本市のゴミ収集事業を受託されている4事業者も、ボランティアで、ゴミ分別用コンテナボックスの設置からゴミ回収までを行なってもらえました。このように多くの方々に協力してもらい、1時間程度で原状回復することができました。また、議員案内のとおり、本市としても、放置されるゴミが減少できるような取り組みを検討していきます。

今回の花火大会では、たくさんの効果と課題が明確になっていますので、今後継続して開催していくうえで、改善に向けた対策を講じるとともに、行政だけでなく、民間事業者と一体となって取り組んでいきます。

(2)NTN総合運動公園サッカーグラウンドの人工芝を全面張り替えする考えと、利用者の要望に対する対応は！

人工芝の耐用年数は、一般的には約7年～8年とされています。芝が擦り切れており人工芝の寿命のサインを示しており、凹凸もある状態では危険なグラウンドと言わざるを得ません。人工芝全面張り替えの考えと要望に対する対応は。

●市の回答(抜粋)

NTN総合運動公園サッカーグラウンドは平成26年11月にオープンし今年で9年が経過しています。人工芝については劣化がみられ、特に劣化が激しい箇所については部分補修を行なっているため、摩耗して短くなった人工芝と部分補修を行った人工芝の間で段差が生じるなど更新時期が迫っていることは承知しています。そのため、2022年度にライフサイクルコスト算定調査を実施し、今年度交付金の概算要望を行なうなど、現在準備を進めている状況であり、予算計上のタイミングを見計らっています。利用者の要望については、ハード面の整備では現在実施しています。総合運動公園プール整備・運営事業の公募の中で、公園全体の活性化や課題解決に対する提案を求めていますので、事業者との対話などの中で伝え、事業者からの提案を踏まえ、今後の整備について検討していきます。ソフト面に関しては、利用者の方が快適に利用できる状態を維持できるよう、契約内容の見直しを図っていきます。



部分補修の為人工芝に凹凸ができています



芝が擦り切れて充填材が流れだすグラウンド

最近の愛敬重之活動報告です

●7月14日:中立議員団視察 浜岡原子力発電所

昨年に引き続き中立議員団会議が開催されました。今回は中部電力株式会社様のご好意より、浜岡原子力発電所を視察させていただきました。



[S(安全) + 3E(E経済性・E安定供給・E環境適合)の達成のために、エネルギーごとの強みを発揮し、弱みを補充する「エネルギーミックス」の確実な実現を目指していただきたいです。



●7月20日:連合東海ブロック2023政策研究集会参加
今回、連合東海ブロック政策研究集会に参加をさせていただきました。テーマが「中小企業振興基本条例の制定に向けた取り組み」ということでパネリストとして参加をし、桑名市の企業誘致活動や条例制定に向けた取り組みを報告させていただきました。